

WMO/IUGG 主催の短期および中期数値予報国際シンポジウムのお知らせ

標記のシンポジウムが日本気象学会も後援して、1986年8月4～8日に東京で開催されます。このシンポジウムでは、次のテーマが取り上げられる事になっています。
 ①客観解析・データ同化、②イニシアリゼーション、③物理過程のパラメタリゼーション、④数値スキーム、⑤全球予報モデル、⑥局地モデル、⑦メソスケール現象の解析と予報、⑧熱帯低気圧の予報を含む、熱帯の数値

天気予報、⑨地形の効果とその取り扱い、⑩予報誤差。

このシンポジウムで論文を発表したい方または出席したい人は、1986年1月31日までに、ジュネーブのWMOへ申し込む必要があります。申込用紙などについては、このシンポジウムのプログラム委員の松野太郎会員（東大・理学部・地球物理学教室）に問い合わせして下さい。

第32回 風に関するシンポジウム プログラム

共催学会 地震学会、土木学会、日本海洋学会、日本気象学会（幹事学会）、日本建築学会、日本航空宇宙学会、日本地理学会、日本農業気象学会、日本林学会、日本流体力学会、日本風工学会

日時 1986年1月24日（金）

会場 気象庁講堂

東京都千代田区大手町 1-3-4
 （地下鉄 東西線 竹橋駅下車）

プログラム

一般講演（発表1題15分、討議は2～4題まとめて行う）

10:00～10:10 挨拶 気象協会 竹内清秀

10:10～12:10

1. 海上風の空間構造について
 ○藤谷徳之助、花房龍男（気象研）
2. 風速変動の高次モーメントについて
 ○花房龍男、藤谷徳之助（気象研）
3. ドップラーソーダによる気流・乱流の測定
 吉川友章（気象研）
4. 風杯型風速計による風速変動の観測
 ○林 泰二、光田 寧（京大・防）
5. 晴夜逆転層中の風の周期的変動の観測
 ○横山長之、林 正康、北林興二（公資研）
 鈴木基雄（気象協会）
6. 日本における地表風のスペクトル気候学
 甲斐憲次（気象庁）
7. 市街地における風の性質
 ○横谷恵二、吉田正昭、中村 修、片桐純治
 （風工研）

13:00～14:00

8. 角柱物体から放射される渦に対するマッハ数の

1985年11月

効果 中川武夫（金沢工大）

9. 風発生のもう1つの原因
 一バロクリニック流体の運動と運動方程式—
 ○今野儀兵衛、立花和宏（山形大・工）
10. 箱桁橋梁の耐風性と幾何学的形状配置の効果
 宮崎正男（住友機工）

14:05～15:05

11. 飛しょう昆虫のにおいコミュニケーションと平均化時間
 広岡芳年（都立小平高）
12. 土壌面炭酸ガスフラックスのチャンパー法による測定
 井上君夫（農環研）
13. 市街地の乱気流境界層を対象とした粗度因子分析に関する研究
 大熊武司、丸川比佐夫、○小林啓人
 （神奈川大・工）

15:10～16:10

14. 風洞実験における拡散幅と乱れ強さについて
 ○藤本達見、水本伸子（石播重工）
15. 鉛直方向の拡散とそのパラメータの σ_z について —風洞実験—
 加藤真規子（気象研）
16. 温度成層中の乱流統計量について—風洞実験—
 加藤真規子（気象研）

16:15～17:00 特別講演

非流線形物体に対する乱れと準定常性について
 桂 順治（京大・防）

懇親会 終了後、気象庁食堂にて開催予定

その他 前刷集は作成致しません。

問合せ先 〒305 茨城県筑波郡谷田部町長峰 1-1

気象研究所 物理気象研究部 花房龍男

Tel. 0298-51-7111 内線 607